

水生生物モニタリング調査結果一覧(相馬市沖L)

<相馬市沖L 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
L-1	-	-	-	-	-	-
L-2	-	-	-	-	-	-
L-3	-	-	-	-	-	-

<相馬市沖L 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時		水質					底質		その他	
	計画緯度	計画経度	日	時刻(水)	時刻(泥)	水温()	泥温()	性状	色相	混入物	全水深(m)	透明度(m)	
L-1	37.8210°	140.9610°	H27.12.10	-	09:45	-	10.3	砂混泥	5Y3/2	なし	-	-	
L-2	37.8155°	140.9763°		08:30	09:20	10.4	10.4	砂	5Y3/2	なし	1.3	>1.3	
L-3	37.8217°	140.9765°		08:15	09:32	10.1	9.9	泥混砂	7.5Y3/1	なし	1.3	>1.3	

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	計画緯度	計画経度	日	時刻(水)												
L-2	37.8155°	140.9763°	H27.12.10	8:30	8.0	<0.5	2.1	9.1	4720	32.08	1.0	2	0.7	0.0022	0.012	-
L-3	37.8217°	140.9765°		8:15	8.0	<0.5	2.2	9.2	4920	31.70	1.2	5	1.9	0.0029	0.014	-

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成						Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)		
	計画緯度	計画経度	日	時刻(泥)							礫 (2-75mm) (%)	粗砂 (0.85-2mm) (%)	中砂 (0.25-0.85mm) (%)	細砂 (0.075-0.25mm) (%)	シルト (0.005-0.0075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)				中央粒径	最大粒径
L-1	37.8210°	140.9610°	H27.12.10	9:45	7.5	47	33.5	2.9	5.8	2.650	6.6	11.3	37.5	21.3	12.9	10.4	0.30	19	32	150	-
L-2	37.8155°	140.9763°		9:20	7.6	64	21.5	1.4	2.5	2.675	0.4	3.0	69.4	25.4	1.0	0.8	0.31	4.8	21	96	N.D. (0.15)
L-3	37.8217°	140.9765°		9:32	7.5	37	27.1	1.5	3.9	2.676	0.3	0.5	43.2	48.0	4.0	4.0	0.23	19	13	61	-

<相馬市沖L 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)		Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	Cs-134	Cs-137		
L-1	松川浦	37.8210°	140.9610°	H27.12.10	藻類・植物	-	-	-	-	プランクトン(浮遊藻類)	-	0.017	-	-	-	3.3	16	-	
L-2		37.8155°	140.9763°		種子植物	単子葉植物	-	アマモ	<i>Zostera marina</i>	アマモ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L-3		37.8217°	140.9765°		節足動物	軟甲	エビ	モクズガニ	-	イソガニ属	95	0.21	成体	-	-	-	0.72	3.4	-
					軟体動物	二枚貝	カキ	イタボガキ	<i>Crassostrea gigas</i>	マカキ	30	0.45	成体	-	-	-	0.30	1.6	-
					軟体動物	二枚貝	マルダレガイ	マルダレガイ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ	197	0.61	成体	-	-	-	0.61	2.8	-

- 1: 生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。
- 2: 水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。
- 3: 複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。
- 4: 生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。
- 5: 成長段階の赤字記載は、鱗または耳石による年齢査定の結果を示す。
- 6: プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。
- 7: 河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。
- 8: N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。
- 9: 放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。